

電波観測所のこと等

JJ1SXA 池

情報通信研究機構(NICT)が提供する、宇宙天気情報のページは、ご存知のとおり、240のHPにもリンクが張ってありますが、この時期は、Eスポの発生状況がほとんど連日レポートされています。

国内4つの電波観測所、稚内(北海道)、国分寺(東京)、山川(鹿児島)、大宜味(沖縄)からのレポートですが、NICTによると、…ここでは、臨界周波数値が4.5MHz以上のとき「スプラディックE層が存在する」と定義しており、臨界周波数が8MHzを超えた場合「強いスプラディックE層が存在する」としております。…となっています。

Eスポ層の存在が確認されると、観測所名の前に、黄色の丸がつき、更に、強いEスポ層の存在が確認されると、黄色の丸が、赤い丸に変わっています。

おっ、今日は赤丸が2つもあるぞと、喜んでいますが…が、実際には、無線機のダイヤルを回す事無く、クラスターを眺めて、1エリアの局が、6とやっているな、8エリアともやっているなど、感心しているだけで困ったものです —… —… —… (←ホレ)

以前にも一寸書きましたが、東京の国分寺電波観測所ですが、本部所在地は小金井市、アンテナのある場所は、小平市にあるようですし、北海道の稚内電波観測所も移転して、現在の所在地は稚内市ではないようですが、名称は当分変えないそうです、また沖縄の国頭郡大宜味村にある電波観測所は、何故か、国頭電波観測所とか大宜味電波観測所では無く、沖縄電波観測所となっています。

ちなみに、鹿児島の山川電波観測所は、「ヤマカワ」では無く、「ヤマガワ」と濁るのが正しい読み方ようです。

それにしても、太陽黒点数が、何時見てもゼロのままなのが気になるところです。このページから、「電波伝搬障害研究プロジェクト」に進み、「アマチュア無線家の方へ」とたどると、「最新イオノグラム」、「イオノグラムの見方」等の項目が並んでいます、時間のある時、覗いて見てください、再勉強になることがあるかも知れませんし、あるいは新しい知識が得られるかも知れません、とは言うものの、「イオノグラムの見方」を覗いて見ましたが、私には簡単には理解できませんでした hi

また、「赤道横断伝播」、「HF帯の電離層反射」、「しし座流星群時のEs」等の項に非常に興味があるのですが、この項目の記事がありません。

電波観測所ではありませんが、電波時計でおなじみの、標準電波送信所は、現在国内2箇所、「おおたかどや山標準電波送信所」は、福島県田村市都路町/同双葉郡川内村境界の大鷹鳥谷山(標高約790m)山頂付近から、地上高250m傘型アンテナ、40kHz・50kWで平成11年6月より運用開始、「はがね山標準電波送信所」は、佐賀県佐賀市富士町/福岡県前原市境界の羽金山(標高約900m)山頂付近から、地上高200m傘型アンテナ、60kHz・50kWで平成13年10月より運用開始となっています。